

平成24年2月2日

ニュースリリース

社団法人 日本物流団体連合会

第3回経営効率化委員会を開催

テーマは「災害廃棄物」「新型インフルエンザ」「労働力問題」

(社)日本物流団体連合会(物流連)は、平成24年2月1日(水)に第3回経営効率化委員会(委員長:殿元清司氏 全日本空輸(株) 常務取締役執行役員貨物本部長)を霞山会館で開催しました。

委員会では3つの議題を取り上げました。第1の議題は「東日本大震災による災害廃棄物」です。災害廃棄物とは地震や津波で発生した廃棄物のことであり、岩手県で11年、宮城県で19年分の膨大な量が発生し、その処理は東北地方の復興に際し大きな課題となっております。そこで環境省廃棄物対策課の計画官から、取り組みの考え方や現状、特に安全性の確保などについて説明いただきました。また、日本貨物鉄道(株)より輸送の事例報告をしていただき、委員による意見交換をしました。

第2の議題は「新型インフルエンザ」です。これは政府が新型インフルエンザ対策の法制化の準備をしていることを踏まえて、急遽、議題として追加をしたものです。この議題については、医学博士 岡田晴恵先生(21世紀政策研究所シニア・アソシエイト)から、強毒型H5N1インフルエンザの特徴とワクチンの有効性についてご講演をいただき、その後、物流連がまとめた新型インフルエンザ対策のための法制のたたき台に対する意見書について報告しました。

第3の議題は、労働力問題小委員会の中間報告です。現在、労働力問題小委員会では、少子高齢化による物流業の労働力不足問題について、20~30年後に着実に物流業界への労働力が確保できるための「将来像」を目標に置きながらも、既に顕在化しているトラック運転手不足などの問題にも対応するため、直近の5年間にすべき課題と時間をかけて取り組む課題を業種別にとりまとめているところですが、アンケート調査などの具体的な調査に先立ち、これまでの6回の小委員会を総括して、小委員会から中間報告をしました。

以上

(連絡先) TEL : 03-3593-0139

担当 : 早乙女



写真① 委員会風景



写真② 挨拶する経営効率化委員会 殿元委員長 右側は物流連 大庭理事長